

### (3)生活全般の満足度

<全員に>

Q26 あなたは生活全般に満足していますか。それとも不満ですか。

(ひとつだけ)

\*「生活」とは、家事・育児や家族との生活、個人的な趣味や学習、知人との交流、地域活動などをさします。

【男女別】

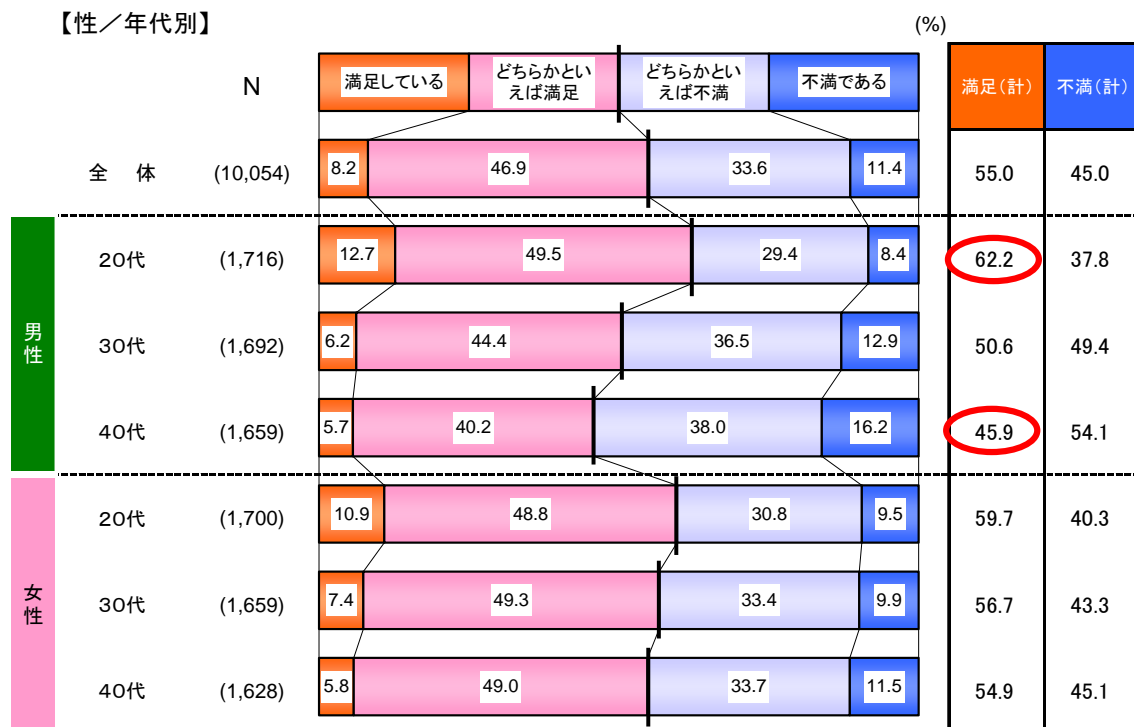
						N		満足(計)		不満(計)	
		満足している	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満である						
全体	(10,054)	8.2	46.9	33.6	11.4		55.0		45.0		
男性	(5,067)	8.2	44.7	34.6	12.5		53.0		47.0		
女性	(4,987)	8.1	49.0	32.6	10.3		57.1		42.9		

生活全般の満足度を聞いたところ、「満足している」と回答した者は 8.2%で、「どちらかといえば満足している」(46.9%)という回答者を合わせると、過半数は生活全般に『満足』している。

男女別にみると、男性より女性の方の満足度（男性 53.0%、女性 57.1%）の方が、やや高くなっている。

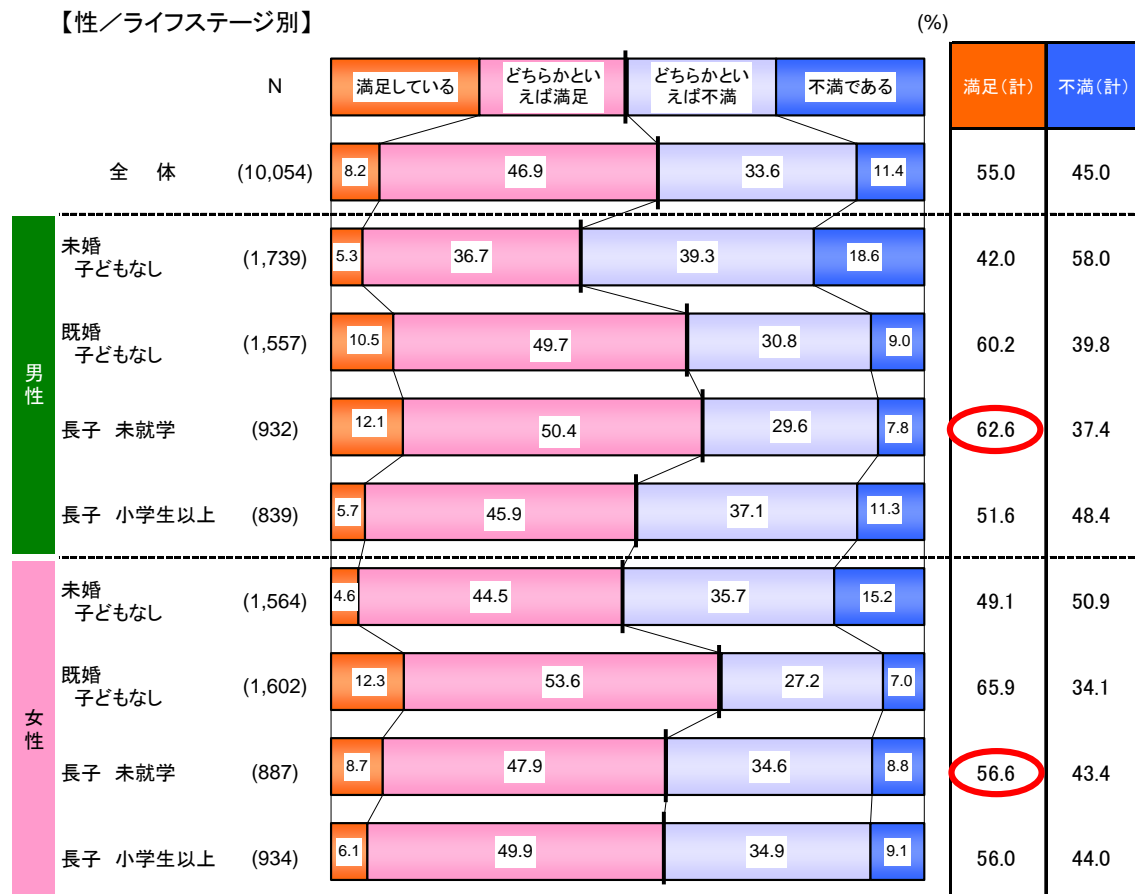
性・年代別にみると、男女とも若年層ほど満足度が高い傾向があり、男性では 20 代（62.2%）と 40 代（45.9%）で満足度の差が 16.3 ポイントと、女性より年代による差が大きい（図表 4-3-1）。

図表 4-3-1 生活全般の満足度（性・年代別）



性・ライフステージ別にみると、長子が未就学の場合は男性の方が女性より満足度が  
高いが、それ以外の層では女性の満足度の方が高くなっている（図表 4-3-2）。

図表 4-3-2 生活全般の満足度（性・ライフステージ別）

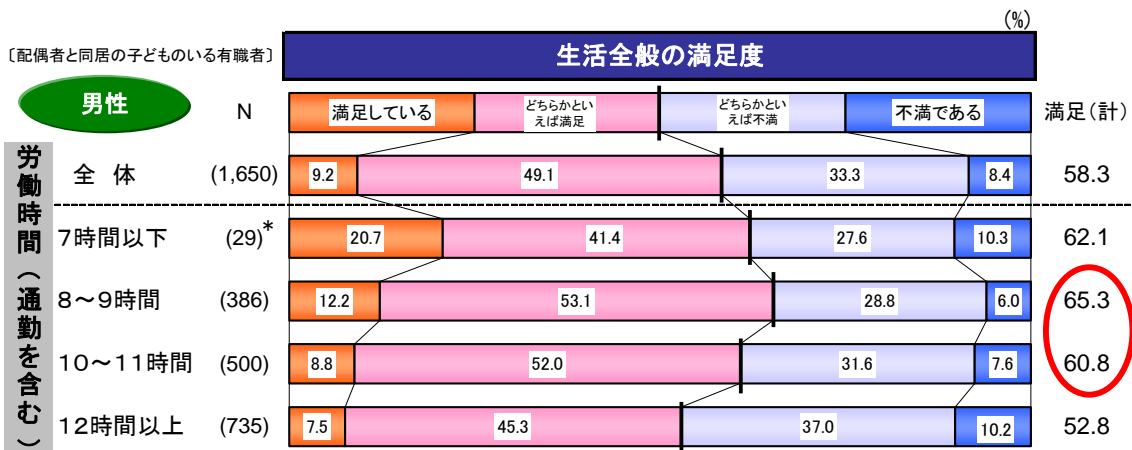
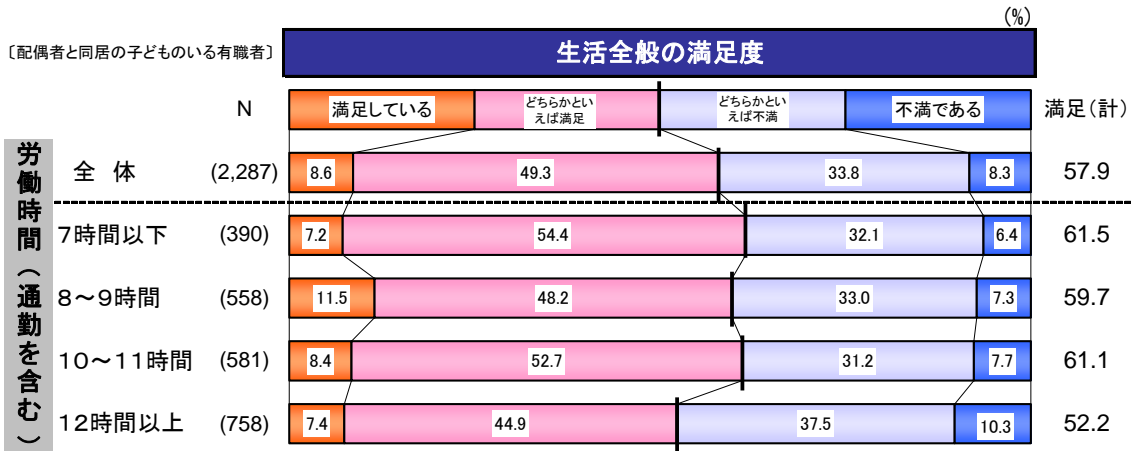


また、配偶者と同居の子どもがいる有職者（2,287 人）について、生活全般の満足度を“労働（通勤を含む）”時間の長さ別にみると、男性では、通勤を含む労働時間が 8～9 時間（65.3%）、10～11 時間（60.8%）の層はそれぞれ約 6 割が『満足』しているが、12 時間以上の層では『満足』（52.8%）という回答が 5 割台と低くなっている（図表 4-3-3）。

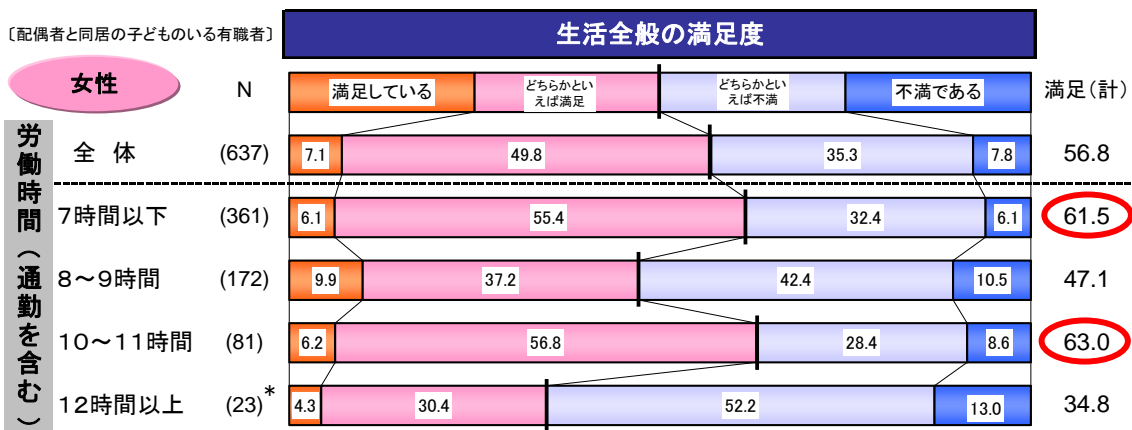
女性では、通勤を含む労働時間が 8～9 時間の層の満足度が 4 割台（47.1%）と低い。

前述した“仕事の内容・やりがい”“労働条件”の満足度（p.69 参照）と同様に、特に男性で、通勤を含む労働時間が 12 時間以上と長時間労働の層では、生活全般の満足度も低くなっている傾向がみられる。

図表 4-3-3 労働時間（通勤を含む）別生活全般の満足度＜配偶者と子どものいる有職者＞



\*サンプル数が少ないため参考値



\*サンプル数が少ないため参考値